

# わたりせふるまゝ散策マップ

## ～大間々編～



**神明宮**  
大間々周辺の1町18ヶ村の総鎮守。天照大神を祀る神社で、社殿は伊勢神宮の建築形式。境内には八坂神社など7つの祠があり、元旦祭、節分祭は特に賑わう。



大間々博物館内



**大間々博物館(コノドント館)**  
大間々地域の自然や歴史に関する資料を総合的に展示し、親子で楽しめる恐竜の立体映像もある。旧大間々銀行の建物を活用した博物館で、大正期の洋風建築として貴重な近代化遺産。  
・休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)  
・入館料：大人200円/小・中学生50円



大間々のまち並み

常夜灯 蔵

食事処 ※食事処はみどり市総合観光ガイドブック掲載店舗です。

駐車場

トイレ には観光パンフレットを配布しています。



**はねたき道了尊**  
「どうりゅうさま」の呼び名で親しまれ、諸願成就、子育ての仏様として江戸時代からたくさんの方の信仰を集めている。

至上神梅駅

わたらせ渓谷鐵道

要害山



散策モデルコース：約3km・1時間40分～半日コース(目安)

大間々駅	0.3km 約7分	ながめ公園・ながめ余興場 (裏面参照)	1.5km 約40分	高津戸峡遊歩道	0.5km 約15分	はねたき橋・はねたき道了尊・神明宮	0.7km 約40分	大間々博物館(コノドント館)	大間々駅
------	--------------	------------------------	---------------	---------	---------------	-------------------	---------------	----------------	------

※(裏面参照) 大間々まち歩き 醤油蔵見学等



**関東菊花大会**  
(ながめ公園にて開催)  
毎年10月下旬～11月下旬に開催。1100鉢以上の菊を展示。菊人形は特に必見。  
・入園料：大人400円/小・中学生200円



**大間々祇園まつり**  
毎年8月1日から3日に開催される390年以上の伝統を誇るまつり。



わたりせふるまを  
散策マップ

おおま  
大間々編

見どころ紹介



たかつ どりょう  
高津戸峡

“関東の耶馬溪”とも讃えられる美しい渓谷。渓谷沿いには約500mの遊歩道が整備されており、ゴリラ岩、ポットホールなどの景勝地を見ることができる。桜、新緑、秋の紅葉は特に美しい景観。

高津戸峡に架かる「はねたき橋」は全長120mの歩行者専用橋で、その名は「水が飛散する様が滝のように見える」ことに由来。はねたき橋から見る高津戸峡は絶景。

よきょうじょう こうえん  
ながめ余興場・ながめ公園

みどり市の重要文化財であるながめ余興場は、昭和12年に建てられた木造2階建ての劇場。直径6.3mの廻り舞台や花道、2階席もある本格的な造りで、玄関は歌舞伎座を模したといわれている。

高津戸峡の眺めがいかると、その名が付いたながめ公園は、花が豊富で、春にはツツジと桜、秋には菊が咲き誇る。毎年



10月下旬から11月下旬に開かれる関東菊花大会は、一見の価値あり。

- ・休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）
- ・見学科：大人 300円 / 小・中学生 150円

大間々のまち並み

大間々は足尾銅山の銅を運ぶ銅山（あかがね）街道の宿場町・市場町として発展。明治から昭和の面影を残すまち並みでは、造り酒屋や県内で最も古い醤油の製造元などもある。およそ200年前に建てられ、その後移設された常夜灯が、地元有志により平成22年3月に133年ぶりに元の場所に戻された。

また、江戸の寛永年間に始まった伝統の祭「大間々祇園まつり」は、「おぎょん」の名で親しまれ、上州三大祇園の一つに数えられており、期間中は、祇園ばやしと共に山車やみこしが町中を練り歩く。



観光案内など問い合わせ先

- みどり市観光課 0277-76-1270
- ながめ余興場 0277-72-1968
- わたらせ渓谷鐵道株式会社 0277-73-2110
- わたらせ渓谷鐵道連絡協議会（桐生行政興務事務所内） 0277-54-4482